



毎年、梅雨の季節は憂鬱な気分で過ごしていましたが、今年は、母屋はもちろん私の作業場でもある倉庫と吊屋で過ごす時間は、うとうしさもじめじめ感なく、快適です。そして、改装して頂いた庭も解放感に満ち、きれいに咲いた花や木々を眺めるのが楽しみの一つにもなっています。

以前は古く傷んだ我が家をどうしたものかと、思案とため息の毎日でした。そんな時、新しく家族が増えることになり、一緒に住もうとの言葉が、我が家のリフォームと改築のスタートとなりました。家を建てるなら『無垢の家』をと、カワイハウスさんをお願いしました。

私たちの次々と出す要望を、設計時から工事中も無理なものは無理といながらも、丁寧に相談に乗っていただきました。凍りつくような日も、また猛暑の日も毎日工事が進み、少しずつ出来あがっていくのを見ながら、ときどき大工さんたちとお茶を飲み、

アドバイスして頂いたこともいい思い出です。(おばちゃんがいつも一緒に迷惑だったかも) 若い大工さんたちの家づくりに対する熱い思い(!?)をきかせていただいたことや熱心にお仕事をしてくださる姿が思い出されます。

ついに母屋が出来上がり、年老いた義母と引っ越した時は本当にうれしかったです。お年寄りに優しい部屋になり義母に喜んでもらえました。わたしたちも無垢の木と珪藻土の壁の優しい温もりと、大工さん達の丁寧な仕事のおかげで快適に過ごすことができました。最終工事の倉庫がだんだん出来あがっていくのを見ながら、「長い間お世話になった春名組の皆さんともいよいよお別れだなあ」としみりしたものです。庭が完成すると見違えるよう、家全体が映えました。

そして、我が家の工事に携わってくださったみなさんともお別れとなりました。足かけ4年間かな?いろいろな人達と出会い、お話しをしていろいろと教えて頂き、お世話にもなりました。大切にこの家を守っていきたいと思うとともに、お世話になった方々への感謝の気持ちで、一杯です。本当にありがとうございました。これからもますますのご健康とご発展をお祈りします。